

2018アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[多摩市立瓜生小学校] 担当教諭名[大石 扶美子・山崎 智之] (6年1・2組 52名)

相手国・地域[フランス]

海外学校名[Ecole Honore de Balzac Elementaire] 担当教諭名[Fujiko Martine]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	外国語活動	自己紹介をしよう	5
	総合的な学習の時間	世界の国とつながろう	11

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	相手国にしてほしい、もっと紹介したい文化
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	自国、相手国について学んできて、気付いたこと。それは共通点があるということ。自国の歴史、自然、観光名所、文化等、大切にしたいものがあるように、相手国にもある。どの国も気持ちは同じ。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会 (ESD) を多摩市は学習している。その学習内容と合致し、子供が国際問題や、世界の文化を「自分たちから」調べるようになった。特にフランスの話題に敏感になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TV電話ができなかったことが残念だった。もう少し身近に感じる事ができたと思うので、年度当初から相手国に伝えておくべきだった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・デモがあった印象が強いか、または全く興味がなかった。しかし、毎回相手校が送ってきてくれる写真を見て、どんどん身近に感じるようになっていった。 ・自分達でフランスを調べたことが大きな転機となり、フランスに興味をもっていった。知ることの大切さを学んでいった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フランスには行ったことがあったが、フランスの学校の事情や行事、文化を知ることができ、とても面白かった。 ・子供時代のやりとりは子供にとって大きな財産になると感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	フランスについて調べる。 自己紹介。 日本の文化の紹介。	1学期に考えた自己紹介を英語で行った。日本の文化についても英語で紹介し、英語を学ぶことができて嬉しそうだった。	外国語活動 総合 3
共有 テーマ学習	10月	相手国に質問する。 そこから深めたいことを見付ける。	夏休みに調べたフランスについて、もっと考えていきたいことを決め、深めていった。	外国語活動 総合 5
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	壁画デザインを決定する	実行委員中心となって、学んだことをどのようにまとめるかを学年とフランス側で話し合い、決定した。	総合 1
創造 壁画制作	11月	壁画を作成する	全員が壁画作成に必ず関わるように、描くパートを決め、作成にあたった。	総合 3
評価 振り返り 自己評価	2月	チームに分かれてまとめを行い、で学んだことを学年で共有する。	全てのチームが学んだことを一言で言い表すことができるように、パワーポイントを作成し、発表した。	総合 2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	フランスの方と関わり合う機会があった時に、すぐに自分達の文化について紹介することができていた。
異文化を理解する力	4	6年の社会科の学習の中で、歴史の学習を行うときに、「異文化を理解しないことが戦争に繋がっていく」という感想をもっていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	発表形態を工夫し、相手に伝わるような話し方、発表の仕方をする事ができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	テレビ会議ができなかったが、小学生同士、共通点を見出し、自分達で質問したいことを考え、質問することができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	数名の児童だが、フランスの歴史を知ったとき「本当にその通りか調べよう」という提案をしていた。
主体的に考え行動する力	5	休み時間にすすんで調べ学習を行ったり、給食の時間に話合ったりしている場面が見られた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	学年の風土であるが、自分の行くことが終わっても、すすんで友達をサポートすることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	実行委員を中心に、絵画の国であるフランスの人にとしたら楽しんでもらえるかを真剣に考えていた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	全校で紹介することができ、「今回学んだこと」を全員が一人一言でまとめることができた。